

第8回 トレーナースキルアップセミナー

● 開催報告 ●

1. セミナー開催情報

テーマ：テキスト「13章 無人搬送台車」に関する学習会

日時：2018年10月26日（金）

自由参加型勉強会 10:00～12:00

セミナー 13:00～17:00

会場：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター

9階 バンケットルーム9E

参加者：36名

内訳 トレーナー 14名

シニアトレーナー 4名

事務局

開催主旨：

SEAJ 安全教育専門委員会は、デバイスメーカーと協力し SEMI-S19 に準拠した業界標準を目的とした「SEAJ 安全教育」を立上げ運営しています。

SEAJ では各社で教育が可能なトレーナーを育成するために、新規トレーナーと3年毎に更新するトレーナーを対象とした「トレーナー養成講座」を年に数回開催しています。

それとは別にトレーナースキルをより向上させるため、SEAJ 安全教育トレーナーを対象とした「トレーナースキルアップセミナー」を年1回開催しています。

SEAJ 安全教育には、基本の全18章とガスの特別教育また作業リーダー特別教育があります。当セミナーはいずれかの章に着目して深掘をするようにしています。

第8回となる今年は、トレーナーの皆様が基本の全18章の中から「13章 無人搬送台車」について受講者に対し最新でかつ正しい情報を発信していただけるような内容としました。

2. プログラム

午前の部 自由参加型勉強会

i) 18章緊急時の対応に絡めたディスカッション

いつ来るかわからない地震、その時どう行動すべきか

また事前に準備した方がよい内容とは何かについて討議

午後の部 セミナー

i) 開催の辞：石川委員長

ii) セミナーの概略説明：中山委員

iii) 特別講演：村田機械 榮倉様

iv) 13章スキルチェックの解説：西澤委員

v) グループディスカッション：中山委員

vi) 当委員会（分科会、プロジェクト）活動概要説明：

各分科会、プロジェクトチーム

vii) 事務局からのお知らせ：栗原

viii) 閉会の辞：塩出委員

ix) 懇親会

3. 自由参加型勉強会（午前の部）



阪神淡路大震災以降、中越地震や東日本大震災、最近では北海道胆振東部地震など大きな被害をもたらす災害が続いており、一般市民の甚大な被害はもちろんのこと、最先端の精密装置が稼働するデバイスメーカーや装置・部品そして部材を供給するメーカーの被害が非常に大きいのが現状です。

事業継続計画（BCP）を優先させたいデバイスメーカーにとって、サービスマン・技術者の確保と早期復旧作業は必然であることから、SEAJ「災害発生時のクリーンルーム内入室作業に関するガイドライン」を基に、入室の際のチェック方法など説明して安全の啓蒙を図ってきました。

また昨年のセミナーでは麹町消防署の方に特別講演を

行っていただきました。

午前の部の後半ではワークショップを行い、18章 緊急時の対応に追加したいスライドの討議を行っていただきました。

ただ絶対安全がない以上、トレーナーが作業者に伝えたい思いを更に磨くことが必要と考え、本年の午前の部では緊急時に備えて何が必要なのかまたどう行動すれば良い結果が得られるのか、熊本地震を通してソニー熊本様が得られた経験映像を視聴後討議する場を設けました。

本勉強会で使用させていただきました映像は、ソニー熊本様のご協力によるものです。

ソニー熊本様へ厚くお礼申し上げます。

4. トレーナースキルアップセミナー開催の辞（午後の部）



石川委員長から開催の挨拶がありました。

5. セミナーの概略説明



中山委員（トレーナースキルアップ分科会リーダー）より、セミナーのプログラムと目的の説明がありました。

6. 特別講演

村田機械株式会社から榮倉様をお招きして、OHT の現状



と留意すべき基礎知識についてご講演いただきました。

クリーンルームでいつも目にしている OHT の可動の仕組みや安全対策などで、我々が知らないことが沢山ありました。

例えば、“電源が交流400Vなのは何故か” “リニアモーター駆動の所以” “コーナー部の感知性能について”といった内容は非常に興味深いものでした。

参加したトレーナーやマスタートレーナーからは、クリーンルームで作業する人たちが注意しなければならないポイントは何か等々多くの質問がなされ、丁寧にご回答をいただきました。

今後の SEAJ 推奨安全教育の「13章 無人搬送台車」を教えるにあたって、大いに実りのある講演であったと思います。

7. 13章スキルチェックの解説



現在「13章 無人搬送台車」のスキルバンクのデータを正しく理解して貰うため、西澤委員から「問題と解答」のそれぞれ意図する内容について解説がありました。

今回のメインテーマであった村田機械様による特別講演「OHT の基礎について」とテスト解説を基に、受講されたトレーナーの方々が新たに盛り込んだ方が良いと思われるテスト問題を洗い出し、活用方法についても討議していた

だくことになりました。

8. グループディスカッション



ご参加いただいたトレーナー14名を3つのグループに分け、下記テーマで討議していただきました。

- ① 13章無人搬送台車に関するテスト問題を考える
- ② どのように講習に役立てたら良いか考える

現状に即した新しい情報を盛り込んだテスト問題が洗い出され、テキスト改訂に役立てるのに十分な内容の発表がありました。

デバイスメーカーのインテル様からは、無人搬送台車周辺の作業の際、衝突事故を防止するための措置として、停止板の設置とロックアウトタグアウトの実施についてご紹介がありました。

9. 当委員会（分科会、プロジェクト）活動概要説明

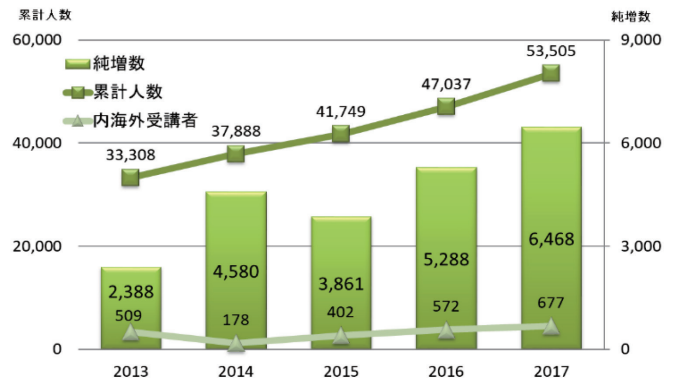
安全教育専門委員会で活動している3つの分科会またプロジェクトの代表者から、現状の活動状況の報告がありました。

- ① テキスト改訂分科会
→ 来年度、法改正等反映したテキスト改訂を検討
- ② トレーナースキルアップ分科会
→ ティーチバック大会開催により、更充実度をアップ
- ③ DVD 更新プロジェクト
→ 現在の製造工程を反映した内容

10. 事務局からのお知らせ

受講修了者人数推移

- 累計 50,000 名を超える
- テキスト外国語版の整備により、海外受講者増加



事務局からは、安全教育受講者数推移、トレーナー数の報告、安全教育専門委員会活動の概要報告などがありました。

2018年度は業界の好況を反映し、装置メーカーだけでなくデバイスメーカー殿の安全教育の需要が増加に伴ってトレーナー養成講座の開講回数を増やす結果となりました。確実にトレーナー養成講座受講修了者数は昨年に引き続き高い伸び率を示し、また一般受講者に関しては合計5万人を超えました。

会員企業またそれ以外の企業の当養成講座受講希望者は、来年2019年も引き続き大幅に増えると考えています。

そして2019年度は、学生向けの安全教育開講も視野に活動を続けていく予定です。

11. 閉会の辞

質疑応答の後、委員より閉会の挨拶がありました。

12. 懇親会

たいへんたくさんの方の参加をいただき、楽しい時間を過ごせました。

本年度は「クリーンルームの安全」DVDの改訂を進めていることから、それに纏わる苦労話や日頃の疑問点など参加いただきました皆様の活発な意見交換や話し合う姿が多く見受けられました。

13. まとめ

今回で第8回目となる本セミナーは、テーマを「13章 無人搬送台車」と致しました。

前回の大きなテキスト改訂の時と比べ、現在稼働する無人搬送台車は更に大型化しかつ動く速度が速くなっているため、その周辺で作業を行う技術者にとって留意しておか

56